

ふりがな 氏名	めぐろ つよし 目黒 強				
職名	教授	所属	人間発達環境学研究科 人間発達専攻教育系教育研究分野	専任・兼任 の別	専任
略歴					
学歴	年月	事項			
学歴	1991年3月 1992年4月 1996年3月 1996年4月 1998年3月	長崎県立佐世保西高等学校 卒業 神戸大学教育学部 入学 神戸大学教育学部初等教育学科 卒業 神戸大学大学院教育学研究科修士課程国語教育専攻 入学 神戸大学大学院教育学研究科修士課程国語教育専攻 修了			
職歴	年月	事項			
職歴	1996年4月 2001年4月 2002年4月 2006年4月 2007年4月 2008年4月 2013年4月	神戸大学附属図書館(人間科学系)事務補佐員(～2002.3) 神戸大学発達科学部非常勤講師(～2002.3) 神戸大学発達科学部講師(～2007.3) 神戸大学大学院総合人間科学研究科博士課程前期課程科目担当(～2014.4) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科講師(～2008.3) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授(～現在に至る) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程科目担当(～現在に至る)			
学位	年月	事項			
学位	1998年3月 2023年9月	修士(教育学)(神戸大学) 博士(学術)(神戸大学)			

著書及び学術論文等目録

【研究活動】

I. 著書

＜単著＞

1. 〈児童文学〉の成立と課外読み物の時代 和泉書院 2019.5
(全351頁) (第43回日本児童文学学会奨励賞)

＜編著・監修＞

1. 「場所」から読み解く世界児童文学事典 (藤田のぼる・原書房
宮川健郎・目黒強・川端有子・水間千恵編)
「因島 前を向くパワーを育む故郷」ほか計40項目を担
当(計80頁) 2014. 6
2. 世界のシンデレラ PHP研究所 2019.6
(川田雅直)
(浜本隆志・馬場聰・目黒強監修)
3. 対話を通してことばを深く学ぶ主体の形成－神戸大学 溪水社 2021. 5
附属住吉小学校・中学校の国語科総合単元学習の軌
跡
(松崎正治・藤原顕・目黒強編)
目黒強「国語科総合単元学習とメディア・リテラシー」
(pp.273-290), 目黒強・小嶋真由「附属住吉小学校・中
学校における国語科総合単元学習年表」(pp.291-
311)

＜分担執筆＞

1. はじめて学ぶ日本の絵本史 I 絵入本から画帖・絵ば ミネルヴァ書房
なしまで pp.309-322 2001.12
(鳥越信編)
「絵雑誌と情報化社会」
2. くどうなおこと子どもたち 詩人の生き方・子どもの読み 明治図書
方 pp.130-138 2001.12
(井上一郎編)
「「少年少女詩」における工藤直子の位相－ジャンルと
作品の両義的な関係について－」

3. 児童文学に魅せられた作家たち
(中部児童文学作家研究会編)
「戦争児童文学とJ回帰—しかたしん著『国境』の現在
—」
KTC中央出版
pp.132-137
2002.4
4. 子どもと本の明日 魅力ある児童文学を探る
(日本児童文学者協会編)
「マルチメディア時代における児童文学の変容」
新日本出版社
pp.141-150
2003.7
5. 新・子どもの本と読書の事典
(黒澤浩ほか編)
「児童文学のグレードとジャンル」
ポプラ社
pp.72-73
2004.4
6. キーワード 人間と発達
(神戸大学発達科学部編集委員会編)
「人間の形成」(三上和夫, 吉永潤, 目黒強), 「言語認 105, pp.182-183
識の形成」(目黒強), 「メディア・リテラシーの育成」(目
黒強), 「言語表現」(目黒強)
大学教育出版
pp.73-75, pp.94-95, pp.104-
2005.4
7. 人間像の発明
(ヒューマン・コミュニティ創成研究センター(神戸大学) 編)
「怖れられる人間—谷崎潤一郎と不良少年の近代」
ドメス出版
pp.86-117
2006.10
8. グリーン・レクイエム
(新井素子)
「解説 新井素子作品の魅力」
日本標準
pp.166-167
2007.6
9. 児童文学研究、そして、その先へ[下]
(宮川健郎・横川寿美子編)
「児童文学のメディオロジー」
久山社
pp.73-92
2007.11
10. アプローチ児童文学
(関口安義編)
「日本児童文学の作家と作品18 今江祥智」
翰林書房
pp.188-191
2008.1
11. 一九三〇年代と接触空間—ディアスボラの思想と文学
(緒形康編)
「谷崎潤一郎『細雪』にみる接触空間におけるモダン
ガール表象のアポリア」
双文社出版
pp.17-41
2008.3
12. とれたて!ベストセレクション 12歳からの読書案内
(金原瑞人監修)
「キャラを生きる女の子たちの現在」, 「苦難に立ち向
かう少女たちから目が離せない」, 「『ゴジラ』×『十五少
』」
すばる舎
pp.60-61, pp.90-91, pp.94-95,
pp.122-123, pp.132-133,
pp.134-135, pp.146-147,
2009.2

年漂流記』の面白さ」, 「つながりたい」 そんな思いが pp.150-151, pp.152-153
暴走し……」, 「彩りあざやかな和風ファンタジー開
幕」, 「夢と現実の輪舞曲」, 「ひりひりとした現実の痛み
を伴うファンタジー」, 「悪口のアンモラルな魅力」, 「大
人の世界に足を踏み入れて目にしたものは?」

13. 少年少女の名作案内 日本の文学アリズム編 自由国民社 2010.2
(佐藤宗子・藤田のぼる編) pp.140-143, pp.156-159,
「灰谷健次郎 兎の眼」, 「岩瀬成子 朝はだんだん見 pp.194-197
えてくる」, 「森忠明 少年時代の画集」
14. 文学の授業づくりハンドブック第1巻 溪水社 2010.6
(浜本純逸監修) pp.51-67
「「たぬきの糸車」の授業実践史」
15. 教育文化を学ぶ人のために 世界思想社 2011.4
(稻垣恭子編) pp.222-244
「立身出世主義にみる文学少年の近代」
16. はじめて学ぶ日本の戦争児童文学史 ミネルヴァ書房 2012.4
(鳥越信・長谷川潮編) pp.167-178
「キリスト教児童文学と戦争」
17. 書斎はキッチンー児童文学に魅せられた作家たち－ ゆいほおと 2012.9
(林美千代・山崎かよみ・O.L.V.編) pp.107-110
「後藤みわこのヤングアダルト作品の戦略」
18. 子どもの本100問100答 司書、読書ボランティアにも 創元社 2013.8
役立つ pp.24-25, pp.208-209, pp.216-
(大阪国際児童文学振興財団編) 217
「質問8」, 「質問96」, 「質問100」
19. 今すぐよみたい! 10代のためのYAブックガイド150! ポプラ社 2015.5
(金原瑞人／ひこ・田中監修) pp.46-47, pp.62-63, pp.72-73,
「不器用だけど誠実な「ぼっち」たちの美学」, 「ありの pp.122-123, pp.182-183,
ままに生きることがどうしてこんなに難しいんだろう」,
「ネットなら夢を実現できるかも!? 少女たちの青春スト
ーリー」, 「子どもたちの切実な声が深く強く、心に響
く」, 「ゲーム世界に閉じ込められたプレイヤーたちが創
る社会とは」
20. 多感な時期に読みたい100冊 12歳からの読書案内 すばる社 2017.5
(金原瑞人監修) pp.26-27, pp.30-31, pp.36-37,
「被災の現実に立ち向かう野球部の熱い夏を描く」, pp.94-95, pp.100-101, pp.102-
「笑えて泣ける落語ミステリー」, 「「中二病」を通してスク 103, pp.104-105

ール・カーストを描く」,「獣と心を通わせる女の子を描いたファンタジー」,「ドレスが映す心のかたち」,「RPGの世界を舞台とした経済ファンタジー」,「男装の姫君とお転婆娘がたどる数奇な運命」

21. 今すぐよみたい! 10代のためのYAブックガイド150 ! 2 ポプラ社 2017.11
(金原瑞人／ひこ・田中監修) pp.24-25, pp.28-29, pp.66-67,
「誰にも見えない強気な彼女」,「スクール・カーストを pp.96-97, pp.112-113
革命せよ!」,「似た者同士 それぞれの片想いのゆく
え」,「本のない世界に転生した「本好き」の悪戦苦
闘」,「知ること、想像することを究めた先にある衝撃の
未来」
22. 赤い鳥事典 柏書房 2018.8
(赤い鳥編集委員会編) pp.61-62, p.67
「『童話』」,「小野浩」
23. 幼年文学おすすめブックガイド200 評論社 2019.6
(大阪国際児童文学振興財団編) p.38, p.95, p.148, p.206, p.212
「サンタちゃん」,「ひみつのいもうと」,「カエルになつ
たお姫さま」,「ソフィーとカタツムリ」,「小さな山神スズ
ナ姫」
24. あまんきみこハンドブック 三省堂 2019.9
(あまんきみこ研究会編) pp.64-65, pp.136-137
「天の町やなぎ通り」,「ぼうし」

II. 学術論文

<博士論文>

1. 明治期における課外読み物としての〈児童文学〉の正 神戸大学(博論第186号) 2023.9
統化と逸脱(目黒強) 全305頁

<査読付論文>

1. 明治二五年における学童／児童の言説編成—巖谷小『児童文学研究』 1997.11
波『当世少年氣質』と『暑中休暇』における同一性と差 日本児童文学学会編
異一 (目黒強) 第30号, pp.14-26
2. 『少年園』における表象としての「現実」と「地方少年」『日本文学』 1998.12
(目黒強) 日本文学協会編
第47巻第12号, pp.10-18

3. 「児童の発見」再考－イデオロギー装置論(アルチュセ『児童文学研究』
ール)に向けて－ (目黒強) 1999.11
日本児童文学学会編
第32号, pp.40-52
4. 擬人法における他者表象の問題－「どんぐりと山猫」を『日文教 国語教育』
読むということ－ (目黒強) 1999.12
日本文学協会国語教育部会編
第30号, pp.43-52
5. 『教育時論』における「不良」に関する言説についての『研究誌別冊子どもの文化』
考察 (目黒強) 2001.9
子どもの文化研究所編
第3号, pp.44-54
6. 谷崎潤一郎の初期作品における「不良」の表象に関する『児童文学研究』
考察 (目黒強) 2001.10
日本児童文学学会編
第34号, pp.1-13
7. マルチメディアという居場所－中景なき時代における児『日本児童文学』
童文学の模索－ (目黒強) 2005.8
(第2回日本児童文学者協会評論新人賞) 日本児童文学者協会編
第51巻, 第4号, pp.52-60
8. 教育雑誌における教育的メディアとしての児童文学の『児童文学研究』
発見－『教育時論』を事例として－ (目黒強) 2014.2
日本児童文学学会編
第46号, pp.1-14
9. 明治後期における課外読み物観の形成過程－『太陽』『神戸大学大学院人間発達環境
における「小説」観を事例として－ (目黒強) 2014.9
学研究科研究紀要』
神戸大学大学院人間発達環境学
研究科編
第8巻第1号, pp.21-31
10. 明治期における〈冒険小説〉の排除と包摂－教育雑誌『大阪国際児童文学振興財団研
究紀要』
を中心に－ (目黒強) 2016.3
大阪国際児童文学振興財団編
第29号, pp.1-11
11. 明治後半期における文士の社会的地位をめぐるポリテ『大阪国際児童文学振興財団研
イクス－巖谷小波の文士優遇論に着目して－ (目黒
究紀要』
強) 大阪国際児童文学振興財団編
第31号, pp.1-13
12. 課外読み物としての松山思水『喜劇と喜歌劇 アンポン タン』の位相 (目黒強) 2018.3
『大阪国際児童文学振興財団研
究紀要』
大阪国際児童文学振興財団編
第34号, pp.1-11

13. 『童話研究』における「童話批評」の生成（目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境 学研究科研究紀要』 神戸大学大学院人間発達環境学 研究科編 第17巻第1号, pp.23-32 2023.9
14. 大正期における副読本としての課外読み物論－『国語』『神戸大学大学院人間発達環境 教育』を事例として－（目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境 学研究科研究紀要』 神戸大学大学院人間発達環境学 研究科編 第18巻第1号, pp.15-24 2024.9

＜査読なし論文＞

1. 近代家族形成史から見た児童文学（目黒強） 『国語年誌』 1996. 11
神戸大学国語教育学会編
第15号, pp.79-92
2. レイシズム・セクシズムの言遂行的構成－有島武郎「一 房の葡萄」を〈読む〉－（目黒強） 『両輪』 1997.10
両輪の会編
第23号, pp.141-151
3. 若松賤子訳『小公子』による「教育する母親」の言遂行的構成－明治二〇年代前半における「日本児童文学」の言説編制－（目黒強） 『国語年誌』 1998.2
神戸大学国語教育学会編
第16号, pp.102-114
4. 《リテラシー》の多數性－機能的識字觀からの転回－（目黒強） 『両輪』 1998.2
両輪の会編
第24号, pp.39-49
5. 擬人法における認識論的問題に関する考察－宮沢賢治「どんぐりと山猫」を読むこと－（目黒強） 『両輪』 1998.6
両輪の会編
第26号, pp.32-43
6. 独話不可能性に関する考察－問題設定としての「声」－（目黒強） 『両輪』 1998.10
両輪の会編
第27号, pp.5-18
7. 仮想化された家父長制イデオロギー－巖谷小波「少年 小説」における「僕」の位相－（目黒強） 『国語年誌』 1999.2
神戸大学国語教育学会編
第17号, pp.355-367

8. 主体化という問題設定—アルチュセールにおける主体 『両輪』 1999.2
化に関する二つの様式— (目黒強) 両輪の会編
第28号, pp.57-69
9. 発話行為の「無意識」—フロイトにおける二つの表象— 『両輪』 1999.4
(目黒強) 両輪の会編
第29号, pp.52-64
10. 発話行為論における発語媒介行為に関する考察—発話行為の不確定性を議論するために— 『両輪』 2001.4
(目黒強) 両輪の会編
第34号, pp.16-28
11. 読書指導のアクチュアリティ (目黒強) 『実践国語研究』 2002.9
全国国語教育実践研究会編
No.235, pp.38-42
12. 多文化共生時代における混生の思想—上橋菜穂子と『日本児童文学』 2002.10
たつみや章の作品にみる国産ファンタジーの現在— (目黒強) 日本児童文学研究会編
第48巻第5号, pp.8-15
13. 新教科書に見る新しい作家・作品 (目黒強) 『実践国語研究』 2003.1
全国国語教育実践研究会編
No.239, pp.9-13
14. 不良学生問題の成立過程に関する考察 (目黒強) 『神戸大学発達科学部研究紀要』 2003.3
神戸大学発達科学部編
第10巻第2号, pp.29-38
15. 谷崎潤一郎『神童』における立身出世主義に関する考察 (目黒強) 『児童発達研究』 2003.3
神戸大学発達科学部児童発達論
講座編 第6巻, pp.1-6
16. 『痴人の愛』における不良少女の表象に関する考察 (目黒強) 『神戸大学発達科学部研究紀要』 2004.3
神戸大学発達科学部編
第11巻第2号, pp.21-28
17. 谷崎潤一郎『小僧の夢』における不良少年としての小僧の表象についての検討 (目黒強) 『児童発達研究』 2004.3
神戸大学発達科学部児童発達論
講座編 第7巻, pp.9-16
18. 教科書の中の児童文学(連載第1回) 幼年童話における「成長」の位相 (目黒強) 『実践国語研究』 2004.5
全国国語教育実践研究会編
No.254, pp.126-129

19. 教科書の中の児童文学(連載第2回) 幼年童話と擬人法 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2004.7
No.256, pp.126-129
20. 教科書の中の児童文学(連載第3回) 戦争児童文学とメディア・リテラシー (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2004.9
No.258, pp.126-129
21. 教科書の中の児童文学(連載第4回) ファンタジーとジェンダー (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2004.11
No.260, pp.126-129
22. 教科書の中の児童文学(連載第5回) 児童文学における自然観 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.1
No.262, pp.126-129
23. 教科書の中の児童文学(連載第6回) ファンタジーとコミュニケーション (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.3
No.263, pp.126-129
24. 『冒険世界』における青少年像に関する一考察—「野球害毒論争」を事例として— (目黒強) 『児童発達研究』 神戸大学発達科学部児童発達論講座編 第8巻, pp.9-20 2005.3
25. 教科書の中の児童文学(連載第7回) メディアとしての手紙 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.5
No.265, pp.126-129
26. 教科書の中の児童文学(連載第8回) 学校ファンタジーの想像力 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.7
No.267, pp.126-129
27. 教科書の中の児童文学(連載第9回) 物語行為の創造力 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.9
No.269, pp.126-129
28. 教科書の中の児童文学(連載第10回) 宮沢賢治童話と映像メディア (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2005.11
No.270, pp.126-129
29. 教科書の中の児童文学(連載第11回) ライフストーリーとしての児童文学 (目黒強) 『実践国語研究』 全国国語教育実践研究会編 2006.1
No.271, pp.126-129

30. 教科書の中の児童文学(連載第12回) 「物語」として 『実践国語研究』 2006.3
の伝記 (目黒強) 全国国語教育実践研究会編
No.272, pp.126-129
31. 谷崎潤一郎「少年」にみる「小学生」のセクシュアリティ 『児童発達研究』 2006.3
についての考察 (目黒強) 神戸大学発達科学部児童発達論
講座編 第9巻, pp.33-41
32. 高度情報消費時代におけるメディア有害言説にみる 『研究誌別冊子どもの文化』 2006.7
「子どもの文化」の位相 (目黒強) 子どもの文化研究所編
第8号, pp.51-62
33. テレビゲーム世代における物語体験の変容 (目黒 『日本児童文学』 2006.10
強) 日本児童文学者協会編
第52巻第5号, pp.26-31
34. 『婦人公論』にみる谷崎潤一郎「女人神聖」における女 『児童発達研究』 2007.3
学生表象の考察 (目黒強) 神戸大学発達科学部児童発達論
講座編 第10巻, pp.13-21
35. 若松賤子訳「セイラ、クルーの話。」にみるジェンダー 『国文論叢』 2007.7
(目黒強) 神戸大学文学部国語国文学会編
第38号, pp.97-107
36. 希望格差社会における現代児童文学のアクチュアリティ 『日本児童文学』 2008.4
(目黒強) 日本児童文学者協会編
第54巻第2号, pp.16-24
37. 砂田弘作品における犯罪者像にみる資本主義批判の 『日本児童文学』 2008.10
変容 (目黒強) 日本児童文学者協会編
第54巻第5号, pp.18-23
38. 『少年世界』における「お伽小説」にみる「小説」の位相 『国際児童文学館紀要』 2010.3
—巖谷小波の作品を中心として— (目黒強) 大阪国際児童文学館編
第23号, pp.1-16
39. 多メディア時代におけるキャラクター表現にみる物語 『日本児童文学』 2010.8
体験—児童文庫を事例として— (目黒強) 日本児童文学者協会編
第56巻第4号, pp.31-41
40. 『少年世界』における「少年小説」の同時代的意味— 『国際児童文学館紀要』 2011.3
「小説有害論」に着目して— (目黒強) 大阪国際児童文学館編
第24号, pp.1-14

41. 『日本之少年』における小説観のアクチュアリティ（目 黒強） 『国際児童文学館紀要』 大阪国際児童文学館編 第25号, pp.15-29 2012.3
42. メディア有害論からみた『少女世界』における女学生像－「少女小説」と「演劇」を中心として－（目黒強） 『国際児童文学館紀要』 大阪国際児童文学館編 第26号, pp.1-14 2013.3
43. 絵本の語りと視点－日本語の主観的把握に着目して－（目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 神戸大学大学院人間発達環境学研究科編 特別号, pp.31-41 2016.6
44. 大町桂月の修養主義的文学観（目黒強） 『大阪国際児童文学振興財団研究紀要』 大阪国際児童文学振興財団編 第30号, pp.1-14 2017.3
45. 明治後期における『少女世界』にみる良妻賢母規範をめぐるポリティクス－〈お伽小説〉と〈冒険小説〉を事例として－（目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 神戸大学大学院人間発達環境学研究科編 第11巻第11号, pp.95-104 2017.9
46. 明治期の読書論における〈空想〉の排除と包摂－お伽噺論を中心として－（目黒強） 『子ども社会研究』 日本子ども社会学会編 第24号, pp.245-254 2018.6
47. リスク社会時代の児童文学 第一回 リスク社会と存在論的不安（目黒強） 『日本児童文学』 日本児童文学学者協会編 第66巻第1号, pp.98-104 2020.2
48. 「文学的な文章」における挿絵の指導法とその効果に関する研究－『一つの花』の授業実践を通して－（増永雄一郎, 目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 神戸大学大学院人間発達環境学研究科編 第13巻第2号, pp.73-80 2020.3
49. 大正期における通俗教育にみる課外読み物の統制（目黒強） 『大阪国際児童文学振興財団研究紀要』 大阪国際児童文学振興財団編 第33号, pp.1-15 2020.3

50. リスク社会時代の児童文学 第二回 中間集団のリスク化（目黒強） 『日本児童文学』 2020.4
日本児童文学者協会編
第66巻第2号, pp.108-114
51. リスク社会時代の児童文学 第三回 リスク・排除・監視（目黒強） 『日本児童文学』 2020.6
日本児童文学者協会編
第66巻第3号, pp.104-110
52. リスク社会時代の児童文学 第四回 学校からの疎外と学校への疎外（目黒強） 『日本児童文学』 2020.8
日本児童文学者協会編
第66巻第4号, pp.98-104
53. リスク社会時代の児童文学 第五回 マイノリティの存在論的不安（目黒強） 『日本児童文学』 2020.10
日本児童文学者協会編
第66巻第5号, pp.102-108
54. リスク社会時代の児童文学 第六回 リスク社会のシミュレーション（目黒強） 『日本児童文学』 2020.12
日本児童文学者協会編
第66巻第6号, pp.114-120
55. 巖谷小波の児童文化施設構想（目黒強） 『大阪国際児童文学振興財団研究紀要』 2022.3
大阪国際児童文学振興財団編
第35号, pp.15-31
56. 児童文学における〈子ども理解〉の動向（目黒強） 『子ども社会研究』 2022.6
日本子ども社会学会編
第28号, pp.21-31
57. 明治・大正年間における『図書館雑誌』にみる課外読み物の選書論（目黒強） 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 2022.9
神戸大学大学院人間発達環境学研究科編 第16巻第1号, pp.95-104

III. その他 <学会ニュースレター>

1. 日本児童文学学会第54回研究大会シンポジウムに参加して（目黒強） 日本児童文学学会 2016. 7
日本児童文学学会会報, No.75
pp.2-3

<書評>（直近5年間）

- 書評 『かなしきデブ猫ちゃん マルのはじまりの鐘』早『神戸新聞』
見和真・作, かのうかりん・絵(目黒強) 2023.4
2023年4月15日付
- 書評 柿本真代『児童雑誌の誕生』(文学通信、二〇 『児童文学研究』
二三年二月二八日刊) (目黒強) 2024.3
日本児童文学学会編
第56号, pp.71-73

＜評論ほか＞

- 不透明なコミュニケーション、透明なディスコミュニケーション 『日本児童文学』
ショーン『こどものおもちゃ』と『エヴァンゲリオン』ー (目 日本児童文学者協会編
黒強) 2000.2
第46巻第1号, pp.98-107
- インターネット匿名言説の危険性 (目黒強) 『日本児童文学』
日本児童文学者協会編
第50巻第1号, pp.34-37 2004.2
- 日本児童文学学会編「研究=日本の児童文学」の意義 『日本児童文学』
と課題 (目黒強) 2004.6
日本児童文学者協会編
第50巻第3号, pp.42-45
- アラビアンナイトのリサイクル (目黒強) 『月刊 みんぱく』
国立民族学博物館編
第28巻第9号, p.11 2004.9
- マルチメディア時代の子育て (目黒強) 『月刊 みんぱく』
国立民族学博物館編
第30巻第4号, p.5 2006.4
- ノスタルジアというモンスターー『GOGOモンスター』試
論ー (目黒強) 『ユリイカ』
2007.1
第39巻第1号, pp.195-202
- 『ノンちゃん雲に乗る』のスペクトリー石井桃子と現代日 『ユリイカ』
本児童文学ー (目黒強) 2007.7
第39巻, 第8号, pp.198-208
- 全国学力・学習状況調査にみるPISA型「読解力」 『子どもと教育』
(目黒強) 神戸大学発達科学部附属住吉小
学校教育研究会編 第36号,
pp.6-9 2007.12
- 〈第十八回国際児童文学学会研究大会・シンポジウム 『児童文学研究』
の報告〉 小学校国語教科書における戦争児童文学教 日本児童文学学会編
材をめぐるイデオロギーの検討 (目黒強) 2007.12
第40号, pp.36-38

10. 女性文化人としての児童文学者－村岡花子を事例として－（目黒強） 『基盤研究(B)女性文化人の社会的形成に関する歴史社会学的研究』 稲垣恭子(研究代表者)編 pp.13-27 2013.3
11. 高橋秀雄作品におけるキャラ的コミュニケーションの転覆（目黒強） 『日本児童文学』 日本児童文学者協会編 第60巻第5号, pp.40-43 2014.10
12. 友だちになるハビトゥス 『だるまちやんとてんぐちゃん』『現代思想』 の読書体験（目黒強） 第45巻第17号, pp.76-80 2017.8
13. 接続期教育における絵本の選書（目黒強） 『平成29年度教職員支援機構委嘱事業 保幼小接続期教育推進のための研修プログラム開発研修テキスト』 pp.26-39 2018.3
14. 阿川佐和子訳『ウィニー・ザ・プー』と教養主義的読書観－石井桃子を手がかりとして－（目黒強） 『ユリイカ』 第51巻第1号, pp.191-197 2019.1
15. テーマセッション I 「児童文学とジェンダー」の報告（目黒強） 『子ども社会研究』 日本子ども社会学会編 第25号, pp.173-183 2019.6
16. 第六〇回日本児童文学者協会賞 選考経過報告（目黒強） 『日本児童文学』 日本児童文学者協会編 第66巻第4号, pp.66-67 2020.8
17. 日常感覚を異化する絵本－安野光雅とヨシタケシンスケ（目黒強） 『ユリイカ』 第51巻第7号, pp.361-367 2021.6

IV. 学会での口頭発表等

1. 「戦争という記憶」の言遂行的構成－壺井栄「石うすの歌」を事例として－（目黒強） 全国大学国語教育学会 第92回大会自由研究発表 1997.8
2. 『擬人法』という(対話)－宮沢賢治「どんぐりと山猫」を事例として－（目黒強） 全国大学国語教育学会 第93回大会自由研究発表 1997.11
3. 発話行為論という問題－発話行為論(1)－（目黒強） 全国大学国語教育学会 第94回大会自由研究発表 1998.8

4. イデオロギーと主体－アルチュセール再考－（目黒強） 日本児童文学学会 1998.10
第37回大会発表
5. 児童文学と〈共生〉の思想－その可能性・不可能性－（目黒強） 日本児童文学者協会 2002.5
2002年度定時総会付設研究会シンポジウム
6. メディアとしての児童文学、メディアのなかの児童文学（目黒強） 日本児童文学学会 2002.10
40周年記念シンポジウム
7. 日本児童文学におけるアラビアン・ナイトの影響について（目黒強） 国立民族学博物館 2003.11
共同研究「アラビアン・ナイトの比較文明学」
8. 『少年世界』における日清・日露戦争の表象－巖谷小波「時局お伽噺」を中心に－（目黒強） 国際日本文化研究センター 2004.2
シンポジウム「日本の出版文化とジャンル」
9. 児童文学研究と評論のあいだ（目黒強） 日本児童文学学会(東京例会) 2005.7
シンポジウム
10. 媒介者としての語り手にみるジェンダー・ポリティクス（目黒強） 日本児童文学学会 2005.10
第44回大会ラウンドテーブル
11. 歴史的概念としての児童文化（目黒強） 日本児童文学学会(東京例会) 2006.7
シンポジウム
12. Children's Literature in Postwar Japan:
From a Japanese/Asian Perspective
(MEGURO Tsuyoshi) Symposium in International
Research Society for Children's
Literature 18th Biennial
Congress 2007.8
13. メディア多様化時代の物語受容（目黒強） 日本児童文学学会 2008.10
第47回大会シンポジウム
14. 雑誌『少年世界』(博文館)から見えてくるもの（目黒強） 日本児童文学学会 2009.10
第48回大会ラウンドテーブル
15. 『日本之少年』における小説観の検討（目黒強） 日本児童文学学会 2011.10
第50回大会発表
16. 児童文庫にみる児童文学の境界（目黒強） 日本児童文学学会 2012.10
第51回大会シンポジウム

17. ジブリ映画におけるヒロイン像の両義性－児童文学を原作とした作品を事例として－（目黒強） 日本児童文学学会 第53回大会シンポジウム 2014.10
18. 明治期における教育雑誌みる「冒険小説」観（目黒強） 日本児童文学学会 第53回大会発表 2014.10
19. 明治期における「お伽噺」言説にみる教育と文学との関係（目黒強） 日本児童文学学会 第54回大会発表 2015.11
20. 明治期の読書論における「空想」の排除と包摂－お伽噺論を中心として－（目黒強） 日本子ども社会学会 第24回大会テーマセッション 2017.7
21. 児童文学の正統化とジェンダー－男の子像の揺らぎに着目して－（目黒強） 日本子ども社会学会 研究集会テーマセッション 2018.12
22. 大正期における通俗教育にみる課外読み物の統制（目黒強） 日本児童文学学会 第58回大会発表 2019.11
23. 明治・大正年間における『図書館雑誌』にみる課外読み物の選書論の検討（目黒強） 日本児童文学学会 第60回大会発表 2021.11
24. 2021年創作座談会（東野司・林美千代・目黒強・米田久美江） 『日本児童文学』 日本児童文学学者協会編 第68巻第3号,pp.56-65 2022.6
25. 『童話研究』における「童話」の卓越化（目黒強） 日本児童文学学会 第61回大会発表 2022.11
26. 保科孝一主幹『国語教育』における課外読み物論の検討（目黒強） 日本児童文学学会 第62回大会発表 2023.11
27. 大日本婦人教育会における巖谷小波の活動（目黒強） 日本児童文学学会 第63回大会発表 2024.11